

# 京都女子大学 教職支援センター研究紀要

2021年3月 第3号

## ■論文

教員養成課程における音・形・色を関連づける表現プログラムの研究 II —音（音環境）とオノマトペに関する授業内容から—	岡林 典子・山野てるひ	1
個別最適化された学びと協働的な学びとのコラボレーション —コロナ禍から考えるこれからの教育課程—	谷川 至孝	17
幼・小の接続を重視した言葉の育ちを支える援助と指導の在り方に関する考察 —読むことを中心に—	水戸部修治	33
問うこととしてのペダゴジー —教育実践のパトスの側面—	村井 尚子	47
仮定法指導の改善 —問題点の整理と新たな用語の提案—	石田 秀雄	61
‘Bi-musicality’ 再考 —近現代日本における音楽の伝習・教育との関連から—	仲辻 真帆	71
学生の聴覚的働きを意識した取り組み —オンラインにおける教員養成課程のピアノ授業の可能性— 宮内 晴加・丹羽ひとみ・長谷川梨紗・野尻麻衣子・難波 正明		85
<b>■研究ノート</b>		
養護教育実習における保健管理・保健教育の現状	大川 尚子・岩崎 保之	101
管楽器指導法の考察 —マウスピースの構造から考察するアンブシュア『サクソフォン』—	日下部任良	113
<b>■実践報告</b>		
子ども・子育て支援の学びとICT —オンラインびっぱらん活動のプロセス—	瀬々倉玉奈・清水 文	121
数学教育におけるアダプティブラーニングを用いた効果についての研究 —アダプティブラーニング教材Qubenaを用いた教育実践—	大門 耕平・坂井 武司・中島 晃貴	135
プログラミング的思考の育成を目指すプログラミング教材の開発 —micro:bitを用いた授業実践—	大門 耕平・坂井 武司・中村 隼規	145
教職課程における科目「教育相談」の教材研究 —アクティブ・ラーニングの視点から—	築地 典絵	161
教職支援センター活動報告① —面接指導（小中、養護、栄養教諭）を中心として—	椋本 久雄	173
教職支援センター活動報告② —面接指導（小学校）を中心として—	天野 聖子	181
教職支援センター活動報告③ —面接指導（幼稚園・保育所・こども園）を中心として—	阿部 直美	189
<b>■その他</b>		
2020年度 教職支援センター年次活動報告		197
投稿規程		200

## 2020年度 教職支援センター一年次活動報告

### 1. 教職支援センターの概要

本学では、「教員になる」という強い意志をもつ学生を育成し、質の高い教員をより多く社会に輩出するため、2011年度より教務部教務課のもとに「教職支援センター」を開設し、教職に関する相談体制、指導体制を整備・強化し、教員採用の実績向上を目指してきた。

性格的には教務課の機能の内、教職支援に特化したセンターとして位置づけられるが、2018年度からは既存の教員採用試験対策支援に加え、本学の教職課程充実のための各種施策における中心的な役割を果たし、また地域における学校現場の問題解決に寄与することを目的として組織強化を行っており、教職支援センター長（本学教員・常駐しない）を置くとともに、特任教授（本学教員）を常駐させて学生指導も行っている。

#### (1)業務内容

教職支援センターでは、将来、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校において教職を目指す学生に対して、教職に関する相談業務、進路にかかる指導業務、各種支援講座等の企画・開催に特化した次の業務を所掌する。

- ①教職課程における指導（教育実習指導、介護等体験指導、教職実践演習を含む）
- ②地域貢献（免許状更新講習、現職教員の研修、教員育成協議会、学校ボランティア等）
- ③教職課程の自己点検・評価（FD/SD、業務・研究成果の公表等）
- ④教員採用試験対策指導（筆記試験・面接試験対策の各種講座の実施等）
- ⑤教員採用に関する情報並びに資料の収集と提供
- ⑥教員採用求人及び教員採用状況の紹介（情報は進路・就職課より提供）

#### (2)運営体制

- ①教職支援センターには特任教授（専任）3名、事務職員等を配置し、各学科・専攻の教職担当教員や教職カウンセラーとの連携の中で学生に対する教職支援を行う。
- ②特任教授は、実務家教員として学校現場や教育委員会等の経験を活かして、教職課程科目の担当のほか、教育実習・介護等体験の事前・事後指導や学生の進路相談に関する助言・指導等を行い、全学的な教職課程の指導的役割を担う。
- ③教職カウンセラーは、教職関連進路、教員採用試験対策講座等に関する企画を行う他、教員採用全般にかかる学生からの相談に対して助言・指導を行う。
- ④教職支援センターは、各学科・専攻の教職担当教員と連携する。また、求人情報や採用情報等の集約業務を担当する進路・就職課と有機的に連携を図りながら運営する。

## 2. 2020年度の活動概要

### <4月中旬～7月>

- ・特任教授・教職カウンセラーによる教員採用試験受験者への個別指導の実施
- ・小論文に特化した有料講座の実施

### <8月～9月>

- ・特任教授・教職カウンセラーによる教員採用試験受験者への個別指導の実施

### <10月～翌3月>

- ・筆記試験対策に特化した有料講座の実施
- ・教職カウンセラーによる教職応援セミナーの実施

### <11月～翌2月>

- ・小論文試験対策に特化した有料講座の実施
- ・「教員採用試験合格者懇談会」のオンデマンド開催

その他、年間を通じて、学生の個別相談・指導、学生ボランティアの紹介、各自治体教育委員会担当者を招いての教員採用試験説明会、私立学校教員採用試験セミナーを開催。

### 2020年度開催分 公立学校教員採用試験説明会及び「教師塾」説明会開催状況

教育委員会名	4回生対象		3回生対象		「教師塾」説明会	
	開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数
京都府教育委員会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		11月9日	37	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
大阪市教育委員会			11月16日	25		
堺市教育委員会			11月20日	3		
石川県教育委員会			11月24日	6		
相模原市教育委員会			11月26日	3		
大阪府豊能地区教育委員会			12月10日	6		
大阪府教育委員会			12月18日	35		
香川県教育委員会※1			12月21日	4		
合計	0			119	0	

※1 オンライン開催

年度別教員採用状況（専任・非常勤別）

	卒業生数	免許取得者数 (A)	教員採用率 (B+C)÷A	教員採用者数 * ( ) 内は非常勤の人数で外数。									公立学校教員採用試験合格者動向 (京都府、滋賀県、奈良県、大阪府、堺市、兵庫県の 合格者数と5名以上の合格者がいる自治体を記載)
				幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	栄養教諭	合計 専任+ (非常勤) B+C	専任採用率 B÷(B+C)	
2009年度	1,344	524	34%	35(7)	60(33)	3(17)	3(12)	2(2)	5(1)	108(72)	60%	京都府2名、京都市10名、滋賀県6名、奈良県9名、大阪府7名、堺市3名、兵庫県0名、柳井市5名	
2010年度	1,360	480	41%	43(8)	57(47)	8(13)	1(9)	1(6)	2(1)	112(84)	57%	京都府3名、京都市8名、滋賀県8名、奈良県7名、大阪府3名、堺市2名、兵庫県0名、東京都5名、川崎市5名	
2011年度	1,354	533	37%	37(8)	61(34)	11(12)	0(12)	2(2)	3(0)	119(76)	61%	京都府7名、京都市14名、滋賀県7名、奈良県8名、大阪府5名、堺市3名、兵庫県1名	
2012年度	1,332	506	39%	37(6)	66(35)	8(12)	2(8)	1(1)	2(1)	120(77)	61%	京都府7名、京都市18名、滋賀県2名、奈良県12名、大阪府3名、堺市1名、兵庫県5名、広島県・広島市5名	
2013年度	1,327	497	41%	39(8)	57(39)	6(11)	1(9)	2(2)	3(3)	114(92)	55%	京都府6名、京都市8名、滋賀県12名、奈良県5名、大阪府2名、堺市3名、兵庫県10名	
2014年度	1,493	483	40%	46(6)	74(37)	13(14)	0(1)	0(1)	3(0)	141(72)	66%	京都府6名、京都市8名、滋賀県12名、奈良県5名、大阪府18名、堺市2名、神戸市12名	
2015年度	1,518	465	46%	41(5)	55(40)	14(27)	1(2)	1(2)	2(3)	126(91)	58%	京都府4名、京都市4名、滋賀県7名、奈良県5名、豊能地区26名、堺市4名、神戸市8名	
2016年度	1,507	459	44%	41(4)	65(35)	14(13)	1(2)	1(2)	3(0)	135(69)	66%	京都府4名、京都市5名、大阪府20名、滋賀県7名、豊能地区2名、堺市5名	
2017年度	1,422	395	42%	29(7)	56(24)	12(12)	0(0)	0(0)	1(0)	105(61)	60%	京都府6名、京都市7名、大阪府20名、滋賀県6名、大阪府3名、豊能地区2名	
2018年度	1,515	438	51%	41(5)	82(2)	40(13)	0(0)	0(0)	3(0)	201(24)	80%	京都府6名、京都市12名、大阪府18名、滋賀県6名、大阪府4名、豊能地区2名	
2019年度	1,373	378	46%	46	61(1)	22(3)	0	0	4(14)	155(20)	80%	京都府3人、京都市12人、大阪府6人、滋賀県9人、大阪府4人、堺市1人、兵庫県1人、奈良県4人、和歌山県2人	

\* 2020年度については集計中のため除外

「教職支援センター研究紀要」投稿規程

〔2018年9月18日付〕  
制 定

最近改正 2020年7月27日

1. 目的

京都女子大学教職支援センター（以下、「教職支援センター」という。）は、教職課程に関する研究成果の公表を目的として「教職支援センター研究紀要」（以下、「本紀要」という。）を発行する。

2. 刊行頻度

本紀要は、原則として年1回刊行する。

3. 編集委員会

本紀要の編集委員会は、教職支援センター運営委員より選出した委員をもってこれを構成し、編集委員長は教職支援センター長がこれを兼ねる。

2 編集委員は、教職支援センター長が指名する。

3 本紀要の発行に必要な事項については、申し合わせ事項として編集委員会で定める。

4. 投稿資格

本紀要の投稿者は、原則として本学の専任教員または非常勤教員でなければならない。共著論文の場合は、本学の専任教員が共著者に含まれていること。なお、編集委員会が認めた場合（依頼原稿を含む）は、この限りではない。

5. 投稿原稿

本紀要が受領する原稿の種類は以下の通りとし、書式は（4）を除き著者が属する研究分野における標準的な方式に従うものとする。なお、投稿者は以下のどの区分での掲載を希望するかを、投稿申請時に明記すること。

（1）論文：教職課程及び学校教育に関する独創性・新規性のある理論的あるいは実証的研究

（2）研究ノート：教職課程及び学校教育に関する萌芽的あるいは暫定的な考察（有用性のある情報や研究データの提供を含む）

（3）実践報告：教職課程及び学校教育における授業実践や教材・教具の開発等に関する報告

（4）その他：教職支援センター及び各学部等の活動報告、教職課程に関する研究会・研修会・講演会等の報告、学生活動記録等

6. 審査

（1）論文及び（2）研究ノートの投稿者は、原稿提出に先立ち、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の内容確認を経ることとする。

編集委員会は、受領原稿を審査のうえ、紀要掲載の採否及び掲載区分を決定する。

7. 不正行為の禁止

編集委員会からの依頼原稿を除き、他誌に掲載された原稿や投稿中のものは受領しない。また剽窃・盗用の疑いがある場合は、文部科学省が定めた「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」等を参考の上、編集委員会で対処する。

8. 校正

校正は再校までとする。

9. 著作権

掲載された論文等の内容についての責任は著者が負うものとする。また、その著作権は著者に属し、編集出版権は教職支援センターに属する。

10. 情報公開

本紀要に掲載する論文等は、原則として「京都女子大学学術情報リポジトリ」で公開する。

11. 規程の取扱い

本規程の取扱いは、教職支援センター運営委員会が行う。

附則

この規程は、2018年9月18日から施行する。

附則

この規程は、2020年7月27日から施行する。

以 上

令和2年度から、幼稚園、小学校、中高の3名の特任教員が揃い、新しいかたちでの教職支援センターがスタートしました。今号から、センターの業務のうち、主要な位置を占める面接指導の状況と課題をそれぞれの担当ごとに報告していただいています。学生たちがどのようなニーズを持ってセンターを訪れ、どのような支援を行っているか、是非ご一読ください。

今号は、論文7本、研究ノート2本、実践報告7本と多くの原稿を寄稿していただきました。編集委員の皆様には、原稿の確認など、多くのご尽力をいただきました。あわせて英文タイトルの校閲は福島知津子先生にお願いしました。また刊行にあたっては、教職支援センターの園城麻央さん、的場友美さんに大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

教職支援センター研究紀要編集委員長 村井尚子

#### 執筆者一覧（掲載順）

岡林 典子	本学発達教育学部	教授
山野てるひ	本学発達教育学部	教授
谷川 至孝	本学発達教育学部	教授
水戸部修治	本学発達教育学部	教授
村井 尚子	本学発達教育学部	教授
石田 秀雄	本学非常勤講師	
仲辻 真帆	本学非常勤講師	
宮内 晴加	本学非常勤講師	
丹羽ひとみ	本学非常勤講師	
長谷川梨紗	本学非常勤講師	
野尻麻衣子	本学非常勤講師	
難波 正明	本学発達教育学部	教授
大川 尚子	本学発達教育学部	教授
岩崎 保之	本学発達教育学部	教授
日下部任良	本学非常勤講師	
瀬々倉玉奈	本学発達教育学部	准教授
清水 文	幼稚園教諭・元京都市立小学校総合育成支援員	
大門 耕平	近江兄弟社中学校教諭	
坂井 武司	本学発達教育学部	教授
中島 晃貴	近江兄弟社中学校教諭	
中村 隼規	近江兄弟社中学校教諭	
築地 典絵	本学非常勤講師	

棕本 久雄 本学教職支援センター 特任教授  
天野 聖子 本学教職支援センター 特任教授  
阿部 直美 本学教職支援センター 特任教授

編集委員 村井 尚子 (委員長) (教育学科教育学専攻)  
今田 由香 (児童学科)  
坂井 武司 (教育学科教育学専攻)  
谷川 至孝 (教育学科教育学専攻)  
福島 知津子 (英文学科)

京都女子大学 教職支援センター研究紀要 第3号

発行日 2021年3月10日

編集・発行 京都女子大学教職支援センター

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

TEL : 075-531-7275 FAX : 075-531-9145

印刷 株式会社 昭英社

# THE KWU JOURNAL OF TEACHER EDUCATION

March 2021 Volume 3

## ■ Articles

Teacher training programs for expression to connect sounds, forms, and colors II: Using sound of onomatopoeia	OKABAYASHI Noriko / YAMANO Teruhi	1
Hybrid of "Personalized and self-regulated learning" and "Collaborative learning": curriculum from the perspective of COVID-19 crisis	TANIGAWA Yoshitaka	17
Consideration of an ideal support and teaching methods to assist language development, with an emphasis on the connection between early childhood education and elementary school education —Focusing on reading instruction—	MITOBE Syuuzi	33
Pedagogy as questioning ourselves : Pathic Nature of Pedagogical Practices	MURAI Naoko	47
Exploring problems of and solutions to teaching the subjunctive mood in English	ISHIDA Hideo	61
Re-examination of Bi-musicality; In Relation to Music Education in Modern Japan	NAKATSUJI Maho	71
Initiatives of a listening instruction with only students' auditory perception — An Introductory study of piano lessons in an ONLINED faculty training course — MIYAUCHI Haruka / NIWA Hitomi / HASEGAWA Risa / NOJIRI Maiko / NANBA Masaaki		85

## ■ Research Note

Current Status of Health Management and Health Education in Practical Training Program at Kyoto Women's University for /Yogo/ Teachers	OKAWA Naoko / IWASAKI Yasuyuki	101
Teaching method of a wind instrument, Ambouchure of saxophone —Considering the shape of mouthpiece—	KUSAKABE Tadayoshi	113

## ■ Practical Report

A Study of practice and evaluation of support program using ICT for infants and parents by undergraduates: The process of preparation for the online Pipparan	SESEKURA Tamana / SHIMIZU Aya	121
A research on the effectiveness of adaptive learning in mathematics education —An educational practice with the adaptive learning system of "Qubena"— OKADO Kouhei / SAKAI Takeshi / NAKAJIMA Kouki		135
Development of teaching materials aiming to cultivate computational thinking —An educational practice using "micro:bit"— OKADO Kouhei / SAKAI Takeshi / NAKAMURA Shunki		145
Teaching materials for the subject "educational counseling" in teacher-training curriculum: Based on the perspective of active learning	TSUKIJI Norie	161
Activity Report of Education Career Support Center Vol. 1, No. 1: Guidance on Employment Examination of Interviewing for future Junior & Senior High School Teachers and school nurses	MUKUMOTO Hisao	173
Activity Report of Education Career Support Center Vol. 1, No. 2: Guidance on employment examination of Interviewing for future elementary school teachers	AMANO Kiyoko	181
Activity Report of Education Career Support Center Vol. 1, No. 3: Guidance on employment examination of Interviewing for future kindergarten teachers	ABE NAOMI	189

## ■ Others

2020 Annual Report		197
Guide for Contributors		200